

| 副専攻名 | | 環境都市工学 | | | | | |
|--|----------|--|----|-------------|----|----|----|
| 副専攻のCP(カリキュラム編成方針) | | | | | | | |
| 持続可能な都市環境および地域環境の構築と保全に貢献できるための基礎・応用的な知識と技術を身につける。 そのため、上記に関連する自然科学・社会科学の基礎・応用科目群を配置する。 | | | | | | | |
| 副専攻の学習成果 | | | | | | | |
| ・環境・都市・地域・交通システムの基礎的なメカニズムを理解できる。 ・上記に関する調査・計画・デザインに必要な応用力を身につける。 | | | | | | | |
| 副専攻を構成する科目 | | | | | | | |
| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 開講クォーター・単位数 | | | |
| | | | | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| 44162 | 環境技術 | 1. 環境中の分子拡散と吸着現象を表現する基本的な法則を理解する。 2. 環境中の粒子と流体の相互作用を表現する基本的な法則を理解する。 3. 環境中の物質移動を利用した環境技術の機構と性能を理解する。 | 3 | 1 | | | |
| 44168 | 上水道学 | 上水道の基本的計画法及び浄水処理方法、下水道の基本的計画法および下水処理方法の基本原則を習得する。 | 3 | | 1 | | |
| 44169 | 下水道学 | 都市の環境衛生を維持管理するために、下水道の基本的計画法および下水処理方法の基本原則を習得する。 | 3 | | 1 | | |
| 44109 | 大気環境工学A | 大気環境に放出される各種有害物質の現状、法規制を学習し、大気汚染を軽減し快適な空気環境を作り出すための手法を理解する。 | 3 | | | 1 | |
| 44110 | 大気環境工学B | 大気環境に放出される各種有害物質の発生源対策技術と大気中への汚染物質の拡散予測手法を学ぶ。 | 3 | | | | 1 |
| 44140 | 廃棄物工学 | 廃棄物の発生から最終処分までの流れを一貫して学習することで、その理念、政策、技術に関する基礎知識を身につける。 | 4 | 1 | | | |
| 44197 | 環境反応工学 | 反応工学の知識を基礎とした環境中や環境汚染物質処理プロセスにおける物質輸送と化学反応について定量的に記述するための理論体系と数学モデルを、講義と演習を通じて学ぶ。 | 3 | | | 1 | |
| 44166 | 都市計画 | 1. 都市計画の基本的考え方を理解し、主要な専門用語を説明できる。 2. 都市と都市計画の歴史を理解し、都市づくりにおける都市計画の役割を説明できる。 3. 都市を対象とする各分野の計画の方法や手法を理解し、説明できる。 4. 主要な都市計画先進国および日本の計画制度を理解し、説明できる。 5. 小論文の作成を通じて、これらの理解を深め、論述的に表現できる。 | 3 | | 1 | | |
| 44167 | 道路・交通政策論 | 1. 道路の交通容量やその設計法を理解する。 2. 道路政策や道路計画についての基本的な考え方を修得する。 | 3 | | 1 | | |
| 44176 | 交通工学 | 1. 交通流のマクロ的およびミクロ的な記述方法を理解する。 2. 交通の調査・把握・設計の方法を習得する。 | 3 | | | 1 | |
| 44181 | 交通需要予測 | 交通調査の実態について学習したうえで、離散選択モデルや交通ネットワーク分析を用いた交通需要予測を習得する。 | 3 | | | | 1 |
| 44187 | 景観デザイン学 | 1. 建築景観の計画・設計・デザインに関する基本的考え方を理解し、主要用語を説明できる。 2. 建築景観について、対象を分析・評価し、それを言葉や文章で表現できる。 3. 実際の社会における景観デザインに関する諸問題について、授業で学んだ内容を活用して、各自の意見の提示、対応の方法を示すことができるようにする。 | 4 | 1 | | | |

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 開講クォーター・単位数 | | | |
|-------|-----------|---|----|-------------|----|----|----|
| | | | | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| 44189 | スマートシティ概論 | 本授業の目標は、学類において、土木建築分野の高い技術力・研究開発力を活かし、各種都市問題に対するソリューションを提示するとともに、新たな価値を創造し、新しいライフスタイルに向けてスマートシティモデルを理解する。 | 4 | | 1 | | |

各科目の「学生の学習目標」を達成することにより、「副専攻の学習成果」に達成します。